

TAMAサステナブル・アワード2022の開催報告

令和4年12月11日、TAMAサステナブル・アワード2022を開催しました。これは、地域や学校、企業などで実践されている「持続可能なライフスタイル」「環境にやさしい取組」について、広く周知することで多くの人が共感し、環境に対する一人ひとりの意識啓発・行動につなげていくことを目的としたものです。

第1回の今回、地域や学校、企業などで実践されている取組を募集したところ、4つの部門に計14団体から応募があり、多摩すみどりと環境審議会幹事会の審査を経て、次の4団体が受賞しました。表彰式では、市長から、多摩産材でできた表彰楯と副賞として多摩産材の箸が贈呈されました。

また、受賞団体などについては、たま広報2月5日号と公式ホームページに掲載すると共に、表彰式と併せて開催した講演会とパネルディスカッションについては、YouTubeで公開し、市民への意識啓発につなげていきます。

【受賞団体（活動の概要）】

○地球温暖化対策部門 （一社）LGBT-JAPAN

「LGBTs」と「環境保護」というこれまでにない組み合わせの理念のもと、喫緊の課題である「地球温暖化対策」に視点を置き、まず楽しくできる取組から始めて、その行動を生活の中で膨らませていこうと活動を始めました。実際には、月1回、多摩センター駅から永山駅間の乞田川沿いや、聖蹟桜ヶ丘駅から多摩川河川敷まで清掃活動を行っています。

○プラスチック・スマート部門 よみがえれ、大栗川を楽しむ会

平成14年から、毎月第1日曜日に大栗川の定例清掃活動を行っています。近年は、海洋プラスチック問題に着目し、収集したごみの分類調査を実施しているほか、中央大学の研究室と連携し、マイクロプラスチックの実態調査にも協力しています。そのほかにも、一ノ宮用水生き物調査や大栗川水辺まつりなどを開催し、「大栗川を知り、次世代につなげる川の魅力づくり」を目指し活動しています。

○生物多様性保全部門 多摩グリーンボランティア森木会

20年以上継続して、多摩市内の公園緑地で樹木の剪定・伐採や下草刈りを行うなど雑木林を維持する実践的な活動を行い、「みどりの保全」に貢献しています。また、毎年、グリーンボランティア初級講座を11回、中級講座を7回開催し、樹木の伐採体験の実施などにより、雑木林の保全活動ができるスキルを身に着けた講座受講生は500人を超えました。

○ゲットライフスタイル部門 (株)セブン&アイ・フードシステムズ

デニーズではこれまでプラスチック製の掲示物やメニュー表（パウチ等）を年間40万枚以上使用してきましたが、石灰石を主原料とする新素材LIMEX（ライメックス）に順次切り替

えています。昨年からは、使用済 LIMEX 製品を自社回収し、ドリンクバー用トレーにアップサイクルしています。市内にあるデニーズ多摩センター店、多摩貝取店で優先的にこのトレーを導入したことを足掛かりに、今年の春までに国内全店に拡大するなど、資源循環型社会構築に貢献しています。ほかにも、食品ロス対策として「mottECO 事業」や食育スクールも実施しています。